



# ツリー クォータの機能

## ONTAP 9

NetApp  
February 12, 2026

# 目次

ツリー クォータの機能 .....	1
ツリー クォータの機能の概要 .....	1
qtreeとユーザ クォータおよびグループ クォータ .....	1
FlexVolのデフォルト ツリー クォータによる派生ツリー クォータの作成 .....	2
FlexVolのデフォルト ユーザ クォータがそのボリュームのqtreeのクォータに与える影響 .....	4

# ツリー クォータの機能

## ツリー クォータの機能の概要

qtreeをターゲットとするクォータを作成することで、ターゲットqtreeのサイズを制限できます。これらのクォータは\_ツリークォータ\_とも呼ばれます。



特定のqtreeに対してユーザ クォータやグループ クォータを作成することもできます。また、FlexVolのクォータは、そのボリュームに含まれるqtreeに継承されることがあります。

qtreeにクォータを適用するとディスク パーティションと同様の結果が得られますが、クォータを変更することでいつでもqtreeの最大サイズを変更できます。ツリー クォータを適用すると、ONTAPは所有者に関係なく、qtree内のディスク スペースとファイル数を制限します。書き込み処理によってツリー クォータを超えた場合、rootユーザおよびBUILTIN\Administratorsグループのメンバーを含むすべてのユーザがqtreeに書き込むことができません。

クォータのサイズは、利用可能なスペースの具体的な量を保証するものではありません。クォータのサイズは、qtreeで利用可能な空きスペースの量よりも大きくなる場合があります。`volume quota report` コマンドを使用すると、qtreeで利用可能なスペースの実際の量を確認できます。

`volume quota report`の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-quota-report.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-quota-report.html)["ONTAPコマンド リファレンス"]を参照してください。

## qtreeとユーザ クォータおよびグループ クォータ

ツリー クォータは、qtreeの全体的なサイズを制限します。個別のユーザまたはグループがqtree全体を使用するのを防ぐには、そのqtreeのユーザ クォータまたはグループ クォータを指定します。

**qtree**内のユーザ クォータの例

次のようなクォータ ルールがあるとします。

```
cluster1::> volume quota policy rule show -vserver vs0 -volume vol1
```

```
Vserver: vs0                Policy: default                Volume: vol1
                                Soft                Soft
                                Disk                Files
                                Disk                Files
Type  Target  Qtree  User      Disk    Disk    Files   Files
Threshold
-----  -
user   ""      ""      off       50MB   -       -       -
45MB
user   jsmith  ""      off       80MB   -       -       -
75MB
```

kjonesというユーザが、vol1内のクリティカルqtreeであるproj1において、過剰にスペースを消費していることに気がきました。この場合、次のクォータルールを追加することで、このユーザのスペースを制限できます。

```
cluster1::> volume quota policy rule create -vserver vs0 -volume vol1
-policy-name default -type user -target "kjones" -qtree "proj1" -disk
-limit 20m -threshold 15m
```

```
cluster1::> volume quota policy rule show -vserver vs0 -volume vol1
```

```
Vserver: vs0                Policy: default                Volume: vol1
                                Soft                Soft
                                Disk                Files
                                Disk                Files
Type  Target  Qtree  User      Disk    Disk    Files   Files
Threshold
-----  -
user   ""      ""      off       50MB   -       -       -
45MB
user   jsmith  ""      off       80MB   -       -       -
75MB
user   kjones  proj1  off       20MB   -       -       -
15MB
```

## FlexVolのデフォルト ツリー クォータによる派生ツリー クォータの作成

FlexVol上にデフォルト ツリー クォータを作成すると、そのボリューム内のすべてのqtreeに、対応する派生ツリー クォータが自動的に作成されます。

これらの派生ツリー クォータには、デフォルトのツリー クォータと同じ制限があります。追加のクォータが存在しない場合は、制限によって次のような影響があります。

- ユーザは、ボリューム全体に割り当てられているスペースと同じだけqtree内のスペースを使用できます（ただし、ルートまたは別のqtree内のスペースを使用してボリュームの制限を超えていない場合）。
- ボリューム全体を使用するように各qtreeを拡張できます。

ボリューム上のデフォルト ツリー クォータは、ボリュームに追加されるすべての新しいqtreeに引き続き適用されます。新しいqtreeが作成されるたびに、派生ツリー クォータも作成されます。

すべての派生クォータと同様に、派生ツリー クォータは次のように動作します。

- ターゲットに明示的クォータがない場合にのみ作成されます。
- クォータレポートには表示されますが、`volume quota policy rule show` コマンドでクォータルールを表示した場合には表示されません。"ONTAPコマンド リファレンス"の`volume quota policy rule show`の詳細を確認してください。

### 派生ツリー クォータの例

3つのqtree (proj1、proj2、およびproj3) を含むボリュームがあります。唯一のツリー クォータは、proj1 qtreeに対する明示的クォータで、それによってディスク サイズが10GBに制限されます。ボリュームにデフォルト ツリー クォータを作成し、そのボリュームのクォータを再初期化すると、クォータ レポートに4つのツリー クォータが表示されます。

Volume Specifier	Tree	Type	ID	----Disk----		----Files-----		Quota
				Used	Limit	Used	Limit	
vol1	proj1	tree	1	0B	10GB	1	-	proj1
vol1		tree	*	0B	20GB	0	-	*
vol1	proj2	tree	2	0B	20GB	1	-	proj2
vol1	proj3	tree	3	0B	20GB	1	-	proj3
...								

最初の行は、proj1 qtreeに対する元の明示的クォータを示しています。このクォータは変更されません。

2行目は、ボリュームの新しいデフォルトのツリークォータを示しています。クォータ指定子のアスタリスク (\*) は、これがデフォルトのクォータであることを示しています。このクォータは、作成したクォータルールの結果です。

最後の2行は、proj2およびproj3 qtreeの新しい派生ツリー クォータを示しています。これらのクォータは、ボリュームのデフォルト ツリー クォータの結果としてONTAPによって自動的に作成されました。これらの派生ツリー クォータには、ボリュームのデフォルト ツリー クォータと同じ20GBのディスク制限が設定されます。proj1 qtreeにはすでに明示的クォータが設定されていたため、ONTAPによってproj1 qtreeの派生ツリークォータは作成されていません。

## FlexVolのデフォルト ユーザ クォータがそのボリュームのqtreeのクォータに与える影響

FlexVolボリュームにデフォルトのユーザ クォータが定義されている場合、明示的または派生ツリー クォータが存在するボリュームに含まれるすべてのqtreeに対して、デフォルトのユーザ クォータが自動的に作成されます。

qtreeにデフォルトのユーザ クォータがすでに存在する場合、ボリュームにデフォルトのユーザ クォータを作成しても、そのクォータは影響を受けません。

qtree上に自動的に作成されるデフォルトのユーザ クォータには、ボリュームに作成するデフォルトのユーザ クォータと同じ制限が設定されます。

qtreeの明示的なユーザ クォータは、管理者によってそのqtreeに作成されたデフォルトのユーザ クォータを上書きするのと同じように、自動的に作成されたデフォルトのユーザ クォータを上書き（適用された制限を置き換え）します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。